

4 配偶関係別人口

- 未婚率は男性が高い -

15歳以上の人口の配偶関係をみると、男性については総数 596,941 人のうち、未婚者が 245,860 人(未婚率 41.2%)、有配偶者が 317,231 人(有配偶率 53.1%)、死別者が 11,848 人(死別率 2.0%)、離別者が 17,883 人(離別率 3.0%)となっています。

一方、女性については総数 554,947 人のうち、未婚者が 157,276 人(未婚率 28.3%)、有配偶者が 316,050 人(有配偶率 57.0%)、死別者が 53,249 人(死別率 9.6%)、離別者が 26,010 人(離別率 4.7%)となっており、未婚率は男性が高く、有配偶率、死別率、離別率については女性のほうが高くなっています。(表 19)

表 19 配偶関係別人口の推移(15歳以上)

年次別	男					女					
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	総数	未婚	有配偶	死別	離別	
				実	成				数		
昭和45年	395 838	166 627	220 574	5 085	3 391	352 614	101 364	218 005	27 015	6 183	
50年	406 818	156 645	239 423	5 944	4 403	362 670	89 021	237 643	28 980	6 870	
55年	420 175	157 448	248 163	6 150	5 988	381 155	93 158	247 082	30 961	8 577	
60年	456 870	180 217	259 943	7 135	8 314	412 103	106 297	258 252	35 153	11 704	
平成 2年	516 394	213 719	279 744	7 897	10 073	461 111	128 698	277 415	37 973	13 676	
7年	540 374	223 480	289 215	9 114	12 029	487 800	138 243	287 282	42 500	16 579	
12年	561 798	225 079	301 102	10 391	14 851	516 561	144 549	299 938	46 911	20 554	
17年	596 941	245 860	317 231	11 848	17 883	554 947	157 276	316 050	53 249	26 010	
				構	成				比	(%)	
昭和45年	100.0	42.1	55.7	1.3	0.9	100.0	28.7	61.8	7.7	1.8	
50年	100.0	38.5	58.9	1.5	1.1	100.0	24.5	65.5	8.0	1.9	
55年	100.0	37.5	59.1	1.5	1.4	100.0	24.4	64.8	8.1	2.3	
60年	100.0	39.4	56.9	1.6	1.8	100.0	25.8	62.7	8.5	2.8	
平成 2年	100.0	41.4	54.2	1.5	2.0	100.0	27.9	60.2	8.2	3.0	
7年	100.0	41.4	53.5	1.7	2.2	100.0	28.3	58.9	8.7	3.4	
12年	100.0	40.1	53.6	1.8	2.6	100.0	28.0	58.1	9.1	4.0	
17年	100.0	41.2	53.1	2.0	3.0	100.0	28.3	57.0	9.6	4.7	
				増	加				率	(%)	
昭和50年	2.8	6.0	8.5	16.9	29.8	2.9	12.2	9.0	7.3	11.1	
55年	3.3	0.5	3.7	3.5	36.0	5.1	4.6	4.0	6.8	24.8	
60年	8.7	14.5	4.7	16.0	38.8	8.1	14.1	4.5	13.5	36.5	
平成 2年	13.0	18.6	7.6	10.7	21.2	11.9	21.1	7.4	8.0	16.8	
7年	18.3	24.0	11.3	27.7	44.7	18.4	30.1	11.2	20.9	41.7	
12年	8.8	5.3	7.6	31.6	47.4	12.0	12.3	8.1	23.5	50.3	
17年	6.3	9.2	5.4	14.0	20.4	7.4	8.8	5.4	13.5	26.5	

(注) 総数には配偶関係不詳を含みます。

- 女性の有配偶率の低下が続く -

配偶関係別割合の昭和 25 年以降の推移をみると、未婚率は、男性が 35 年(45.2%)まで、女性は 40 年(30.5%)まで上昇傾向で推移していましたが、その後男女とも 55 年(男性 37.5%、女性 24.4%)まで低下傾向でした。60 年から再び上昇に転じましたが、平成 12 年(男性 40.1%、女性 28.0%)には再び低下しました。今回の調査では、また男性が 41.2%と前回調査に比べ 1.1 ポイント、女性も 28.3%と 0.3 ポイントそれぞれ上昇しました。

有配偶率は、未婚率とは対照的に、男女とも昭和 35 年(男性 52.0%、女性 58.7%)まで低下傾向で推移し、その後男性は 55 年(59.1%)まで、女性は 50 年(65.5%)まで上昇傾向で、その後は再び低下傾向になり、今回の調査では男性が 53.1%で前回調査に比べ 0.5 ポイント、女性は 57.0%で 1.1 ポイント低下しています。(表 19)

- 男女とも死別率、離別率は上昇 -

死別率は、男性が昭和 25 年（3.0%）から 45 年（1.3%）まで低下しましたが、その後はわずかながら上昇傾向にあり、今回は前回調査に比べ 0.2 ポイント上昇し、2.0%となりました。女性は昭和 25 年（12.6%）から 45 年（7.7%）まで低下し、その後は 8%台で推移していましたが、今回は前回調査に比べ 0.5 ポイント上昇し、9.6%となりました。

離別率は、男性が昭和 25 年から 50 年までは、1%前後で推移していましたが、その後上昇傾向にあり、今回は前回調査に比べ 0.4 ポイント上昇し、3.0%となりました。女性は昭和 25 年から 50 年までは 1%台で推移していましたが、55 年に 2%台に、平成 2 年に 3%台に、12 年に 4%台になり、今回は前回調査に比べ 0.7 ポイント上昇し、4.7%となりました。（表 19）

- 未婚率は女性の 25～29 歳で 6 割を、男性の 30～34 歳で 5 割を超えた -

配偶関係別割合を年齢（5 歳階級）別にみると、未婚率は、男女とも年齢が高くなるにつれて低下しています。前回調査と比べると、男女ともに全ての年齢階層で上昇となっています。

特に、男性は 55～59 歳で 7.2 ポイント、35～39 歳で 6.6 ポイント、50～54 歳で 6.1 ポイント、40～44 歳で 6.0 ポイント各々大幅に上昇しており、30～34 歳は 4.7 ポイント上昇して 52.6%と 5 割を超えています。

一方、女性は 25～29 歳で 6.2 ポイント上昇して 61.4%と 6 割を、30～34 歳で 5.6 ポイント上昇して 32.9%と 3 割を、35～39 歳で 5.2 ポイント上昇して 20.8%と 2 割を超えています。

また、未婚率の推移をみると、昭和 55 年～平成 17 年までの四半世紀の間に、男性は 25～29 歳で 63.0%から 77.6%へ 14.6 ポイント、30～34 歳で 30.4%から 52.6%へ 22.2 ポイント、35～39 歳で 14.6%から 37.1%へ 22.5 ポイントといずれも大幅に上昇しています。女性も同じ時期に 20～24 歳で 79.0%から 91.4%へ 12.4 ポイント、25～29 歳で 26.2%から 61.4%へ 35.2 ポイント、30～34 歳で 10.5%から 32.9%へ 22.4 ポイントとそれぞれ大幅に上昇しており、男女とも晩婚化、未婚化の傾向が顕著となっています。（表 20・図 9）

図 9 未婚率の推移（20～39 歳）

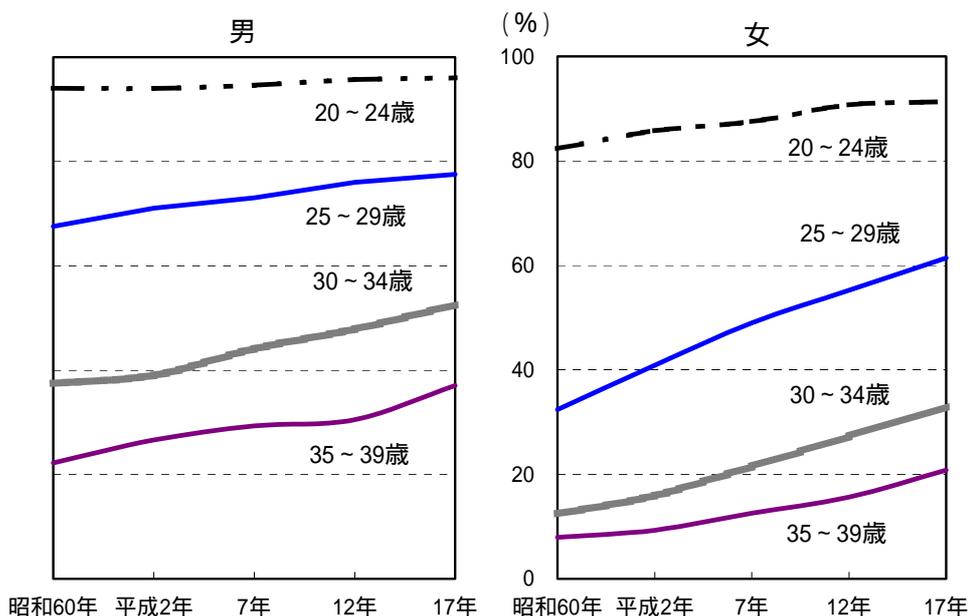


表 20 配偶関係、年齢（5 歳階級）、男女別人口割合の推移（15 歳以上）

単位：%

年 齢 (5歳階級)	未 婚			有 配 偶			死 別			離 別		
	7年	12年	17年	7年	12年	17年	7年	12年	17年	7年	12年	17年
	男											
総 数	41.4	40.1	41.2	53.5	53.6	53.1	1.7	1.8	2.0	2.2	2.6	3.0
15～19歳	98.8	99.5	99.6	0.3	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24	94.6	95.7	96.0	4.3	4.1	3.8	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2
25～29	73.1	76.0	77.6	25.4	23.4	21.8	0.0	0.0	0.0	0.5	0.6	0.6
30～34	44.1	47.9	52.6	53.6	50.6	46.0	0.0	0.1	0.0	1.3	1.4	1.4
35～39	29.3	30.5	37.1	67.6	63.7	59.0	0.1	0.1	0.1	2.0	2.4	2.5
40～44	23.5	23.5	29.5	71.8	70.1	65.6	0.3	0.3	0.2	3.1	3.3	3.4
45～49	17.6	20.4	24.2	76.3	71.8	70.0	0.6	0.6	0.4	4.2	4.2	4.4
50～54	11.8	15.6	21.7	80.7	74.5	70.9	1.2	1.1	0.9	4.7	5.2	5.4
55～59	8.3	10.2	17.4	83.1	78.5	73.5	2.3	2.0	1.7	4.6	5.7	6.3
60～64	4.9	7.1	12.3	85.3	81.3	77.4	3.9	3.4	3.1	4.1	5.2	6.1
65～69	3.1	4.4	8.5	85.8	83.4	80.1	6.1	5.7	5.0	3.3	4.2	5.4
70～74	2.2	2.7	5.3	84.9	83.2	81.9	9.2	8.6	7.8	2.9	3.2	4.2
75～79	1.2	1.8	3.4	82.6	80.2	80.8	13.8	12.3	12.4	2.0	2.6	2.8
80～84	0.7	1.2	2.4	76.5	74.6	76.7	20.5	19.5	18.1	1.5	1.5	2.0
85歳以上	1.1	1.0	1.6	57.3	60.5	63.3	39.3	33.4	33.3	1.3	1.0	1.1
	女											
総 数	28.3	28.0	28.3	58.9	58.1	57.0	8.7	9.1	9.6	3.4	4.0	4.7
15～19歳	98.5	99.1	99.2	0.6	0.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
20～24	87.5	90.7	91.4	11.3	8.9	8.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.5
25～29	49.0	55.2	61.4	49.2	43.3	37.2	0.1	0.1	0.0	1.2	1.4	1.4
30～34	21.5	27.3	32.9	75.6	69.7	64.0	0.2	0.1	0.1	2.4	2.8	2.9
35～39	12.5	15.6	20.8	81.9	78.5	73.5	0.4	0.4	0.3	3.7	4.2	4.6
40～44	8.8	10.8	15.1	84.5	81.8	77.5	1.0	0.8	0.6	4.8	5.6	6.3
45～49	6.9	8.1	11.5	84.5	82.5	79.0	2.2	1.9	1.6	6.0	6.5	7.4
50～54	5.4	6.4	8.6	83.3	81.3	79.7	4.7	3.8	3.1	6.2	7.5	8.2
55～59	4.7	5.1	7.1	79.9	79.2	77.9	8.8	7.5	6.0	5.9	7.0	8.6
60～64	4.5	4.2	5.7	74.2	74.9	74.9	15.5	13.4	11.2	4.9	6.0	7.5
65～69	4.6	4.3	4.7	65.1	67.2	69.1	24.8	22.0	19.0	4.5	4.9	6.4
70～74	3.6	4.3	4.6	50.3	55.5	59.1	40.9	33.9	30.5	4.3	4.5	5.0
75～79	2.3	3.3	4.7	35.5	38.3	44.6	58.1	52.4	45.3	3.0	3.8	4.5
80～84	1.5	2.3	3.8	20.4	22.7	26.8	74.0	69.5	64.6	2.8	2.8	3.9
85歳以上	1.3	1.7	2.5	7.4	8.7	10.2	87.7	84.2	83.7	2.2	1.9	2.4

- 女性の高齢者(65 歳以上)の死別率は男性の約 4 倍 -

有配偶率をみると、男性は 25～29 歳で 21.8%、30～34 歳で 46.0%と年齢が高くなるにつれ上昇し、70～74 歳の 81.9%が最も高くなっています。

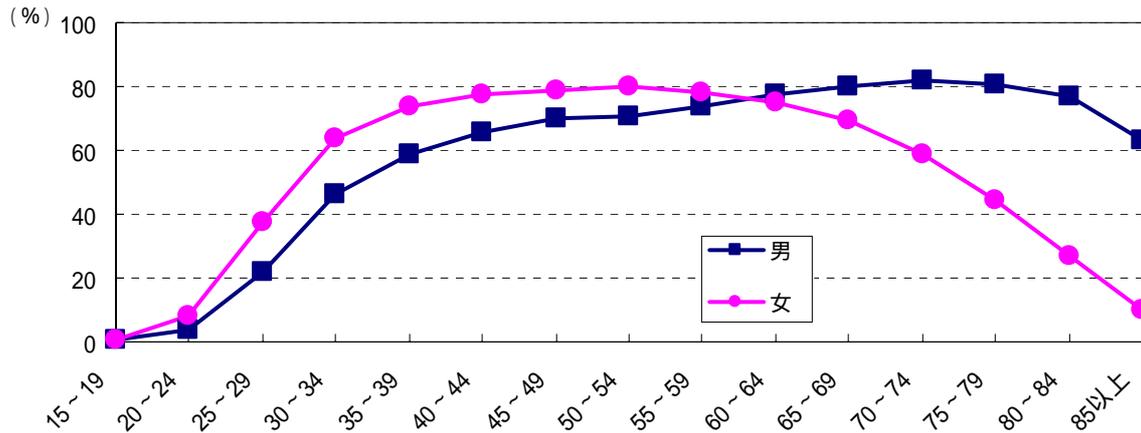
一方、女性の有配偶率は、20～24 歳で 8.1%、25～29 歳で 37.2%と男性と同様に年齢とともに上昇し、50～54 歳の 79.7%が最も高く、以降年齢とともに低下しています。

前回調査と比べると、男性は、未婚率とは逆に 75 歳以上の年齢階層を除く全ての年齢階級で低下しており、女性も男性同様、60 歳以上の年齢階層を除く全ての年齢階級で低下しています。

死別率は年齢とともに上昇しており、高齢者となる 65 歳以上の死別率は、男性が 10.4%となっているのに対し、女性は 40.8%となっており、女性が男性の 4 倍近い値を示しています。なお、これらの年齢階級の死別率は、平均余命の伸長を反映して、男女とも低下が続いています。

また、離別率をみると、男女ともに 55～59 歳の年齢階層が最も高く、各々 6.3%、8.6%となっています。また、平成 7 年以降について離別率の推移をみると、ほとんどの年齢階級で上昇傾向にあります。(表 20・図 10)

図 10 年齢（5歳階級）、男女別有配偶率



- 死別者、離別者とも南部で高い割合 -

区別の配偶関係別人口をみると、未婚者の割合（未婚率）が最も高いのは、男性では多摩区で46.4%、次いで中原区の45.6%となり、女性では中原区の32.1%、次いで多摩区の31.8%となっています。男女ともに多摩区と中原区で未婚率が高く、多摩区は学生が、中原区は独身寮が多いためだと考えられます。

有配偶者の割合（有配偶率）が高いのは、男性では麻生区で60.4%、次いで宮前区の60.2%となり、女性では宮前区の61.5%、次いで麻生区の59.6%となっています。男女ともに宮前区と麻生区で有配偶率が高くなっています。前回調査と比べると、全ての区で女性の有配偶率は低下しています。

死別者と離別者の割合（死別率と離婚率）は、男女とも南部で高く、死別率は川崎区で男性2.6%、女性12.7%、次いで幸区で男性2.5%、女性11.7%となり、離別率についても川崎区で男性5.0%、女性6.3%、次いで幸区で男性3.6%、女性5.8%の順となっています。前回調査と比べると、男女ともに全ての区で離婚率は上昇しています。（表21）

表 21 区別配偶関係別人口（15歳以上）

年次別	男					女				
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	総数	未婚	有配偶	死別	離別
全 市	596 941	245 860	317 231	11 848	17 883	554 947	157 276	316 050	53 249	26 010
川崎区	96 091	42 043	46 177	2 519	4 791	83 163	21 610	45 449	10 582	5 206
幸区	65 290	25 832	35 061	1 635	2 365	61 265	15 474	34 824	7 177	3 542
中原区	96 810	44 106	48 354	1 750	2 384	87 206	28 025	47 482	7 909	3 591
高津区	89 853	35 641	47 921	1 631	2 515	84 537	24 630	47 801	7 199	3 963
宮前区	88 693	31 100	53 370	1 561	2 252	87 018	22 359	53 501	7 090	3 776
多摩区	94 849	43 963	46 862	1 530	2 218	84 638	26 910	46 967	7 047	3 477
麻生区	65 355	23 175	39 486	1 222	1 358	67 120	18 268	40 026	6 245	2 455
				構	成				比	(%)
全 市	100.0	41.2	53.1	2.0	3.0	100.0	28.3	57.0	9.6	4.7
川崎区	100.0	43.8	48.1	2.6	5.0	100.0	26.0	54.7	12.7	6.3
幸区	100.0	39.6	53.7	2.5	3.6	100.0	25.3	56.8	11.7	5.8
中原区	100.0	45.6	49.9	1.8	2.5	100.0	32.1	54.4	9.1	4.1
高津区	100.0	39.7	53.3	1.8	2.8	100.0	29.1	56.5	8.5	4.7
宮前区	100.0	35.1	60.2	1.8	2.5	100.0	25.7	61.5	8.1	4.3
多摩区	100.0	46.4	49.4	1.6	2.3	100.0	31.8	55.5	8.3	4.1
麻生区	100.0	35.5	60.4	1.9	2.1	100.0	27.2	59.6	9.3	3.7

(注) 総数には配偶関係不詳を含みます。

